



Firepower 1000 の SNMP

この章では、Firepower 1000 の SNMP を設定する方法について説明します。

- [Firepower 1000 の SNMP について \(1 ページ\)](#)
- [Firepower 1000 の SNMP の有効化と SNMP プロパティの設定 \(2 ページ\)](#)
- [Firepower 1000 の SNMP トラップの作成 \(4 ページ\)](#)
- [Firepower 1000 の SNMP ユーザーの作成 \(5 ページ\)](#)

Firepower 1000 の SNMP について

簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) は、SNMP マネージャとエージェント間の通信用メッセージフォーマットを提供する、アプリケーションレイヤプロトコルです。SNMP では、ネットワーク内のデバイスのモニタリングと管理に使用する標準フレームワークと共通言語が提供されます。

SNMP フレームワークは 3 つの部分で構成されます。

- **SNMP マネージャ** : SNMP を使用してネットワークデバイスのアクティビティを制御し、モニタリングするシステム
- **SNMP エージェント** : Firepower シャーシのデータを維持し、必要に応じてそのデータを SNMP マネージャに報告する Firepower 1000 シャーシ内のソフトウェアコンポーネント。Firepower シャーシには、エージェントと一連の MIB が含まれています。SNMP エージェントを有効にし、マネージャとエージェント間のリレーションシップを作成するには、Firewall Management Center で SNMP を有効にし、設定します。
- **管理情報ベース (MIB)** : SNMP エージェント上の管理対象オブジェクトのコレクション。

Firepower 1000 シャーシは、SNMPv1、SNMPv2c、および SNMPv3 をサポートします。SNMPv1 および SNMPv2c はどちらも、コミュニティベース形式のセキュリティを使用します。SNMPv3 は、セキュリティにユーザー名とパスワードを使用します。

Firepower 1000 の SNMP の有効化と SNMP プロパティの設定



(注) この手順は Firepower 1000 にのみ該当します。

手順

ステップ 1 [デバイス (Devices)] > [デバイス管理 (Device Management)] の順に選択します。

ステップ 2 [SNMP] をクリックします。

ステップ 3 次のフィールドに入力します。

名前	説明
[管理状態 (Admin State)] チェックボックス	SNMP を有効にするか無効にするか。システムに SNMP サーバとの統合が含まれる場合にだけこのサービスをイネーブルにします。
[ポート (Port)] フィールド	Firepower のシャーシが SNMP ホストと通信するためのポート。デフォルト ポートは変更できません。

名前	説明
[コミュニティ (Community)] フィールド	<p>Firepower シャーシが SNMP ホストに送信するトラップメッセージに含まれるデフォルトの SNMPv1 または v2 コミュニティの名前、あるいは SNMP v3 のユーザー名およびパスワード。</p> <p>SNMPv1 および SNMPv2 の有効なコミュニティ文字列を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 ～ 32 文字までの英数字および特殊文字！ (感嘆符) 、 - (ハイフン) 、 ~ (チルダ) 、 && (二重アンパサンド) 、 [] (角カッコ) 、 ^ (カラ) 、 ' (引用符) 、 " (二重引用符) 、 および <> (山カッコ) 。 • @ (アットマーク) 、 \ (バックスラッシュ) 、 " (二重引用符) 、 ? (疑問符) または空欄スペースは使用しないでください。 • 文字列は、0x21 から 0x7E の範囲内の ASCII 文字でも指定できますが、HTML 挿入ベクター、つまり引用符 (') 、二重引用符 (") 、および山括弧 (<>) は除外されます。 <p>有効な SNMPv3 のユーザー名およびパスワードを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ユーザー名には英数字を使用でき、@ (アットマーク) 、 \ (バックスラッシュ) 、 . (ピリオド) 、 _ (下線) 、 および - (ハイフン) を含めることができます。 • パスワードの制限は、コミュニティ文字列の制限と同じです。 <p>[コミュニティ (Community)] フィールドがすでに設定されている場合、空白フィールドの右側のテキストは [設定 : はい (Set: Yes)] となることに注意してください。 [コミュニティ (Community)] フィールドに値が入力されていない場合、空白フィールドの右側のテキストは [設定 : いいえ (Set: No)] となります。</p>
[システム管理者名 (System Admin Name)] フィールド	<p>SNMP の実装担当者の連絡先。</p> <p>電子メールアドレス、名前、電話番号など、255 文字までの文字列を入力します。</p>
[Location] フィールド	<p>SNMP エージェント (サーバ) が動作するホストの場所。</p> <p>最大 510 文字の英数字を入力します。</p>

ステップ 4 [保存] をクリックします。

次のタスク

SNMP トラップおよびユーザを作成します。

Firepower 1000 の SNMP トラップの作成



(注) この手順は Firepower 1000 にのみ該当します。

手順

ステップ 1 [デバイス (Devices)] > [デバイス管理 (Device Management)] の順に選択します。

ステップ 2 [SNMP] をクリックします。

ステップ 3 [SNMP トラップ設定 (SNMP Traps Configuration)] 領域で、[追加 (Add)] をクリックします。

ステップ 4 [SNMP トラップ設定 (SNMP Trap Configuration)] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Host Name] フィールド	Firepower シャーシからのトラップを受信する SNMP ホストのホスト名または IP アドレス。
[コミュニティ (Community)] フィールド	Firepower シャーシがトラップを SNMP ホストに送信するときに含める SNMP v1 または v2 のコミュニティ名または SNMP v3 のユーザー名。これは、SNMP サービスに設定されたコミュニティまたはユーザー名と同じである必要があります。 1 ~ 32 文字の英数字文字列を入力します。@ (アットマーク)、\ (バックスラッシュ)、" (二重引用符)、? (疑問符) または空欄スペースは使用しないでください。
[ポート (Port)] フィールド	Firepower のシャーシがトラップのために SNMP ホストと通信するポート。 1 ~ 65535 の整数を入力します。
[バージョン (Version)] フィールド	トラップに使用される SNMP バージョンおよびモデル。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • V1 • [V2] • V3

名前	説明
[タイプ (Type)]フィールド	バージョンとして [V2] または [V3] を選択した場合に、送信するトラップのタイプ。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • [Traps] • 情報
[特権 (Privilege)]フィールド	バージョンとして [V3] を選択した場合に、トラップに関連付ける権限。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • [認証 (Auth)] : 認証あり、暗号化なし • [認証なし (Noauth)] : 認証なし、暗号化なし • [秘密 (Priv)] : 認証あり、暗号化あり

ステップ 5 [OK] をクリックして、[SNMP トラップ設定 (SNMP Trap Configuration)] ダイアログボックスを閉じます。

ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。

Firepower 1000 の SNMP ユーザーの作成



(注) この手順は Firepower 1000 にのみ該当します。

手順

ステップ 1 [デバイス (Devices)] > [デバイス管理 (Device Management)] の順に選択します。

ステップ 2 [SNMP] をクリックします。

ステップ 3 [SNMP ユーザー設定 (SNMP Users Configuration)] 領域で、[追加 (Add)] をクリックします。

ステップ 4 [SNMP ユーザー設定 (SNMP User Configuration)] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[ユーザー名 (Username)] フィールド	SNMP ユーザーに割り当てられるユーザー名。 32 文字までの文字または数字を入力します。名前は文字で始まる必要があり、_ (アンダースコア) 、. (ピリオド) 、@ (アットマーク) 、- (ハイフン) も指定できます。

名前	説明
[認証アルゴリズム タイプ (Auth Algorithm Type)] フィールド	許可タイプ : SHA 。
[AES-128 を使用 (Use AES-128)] チェックボックス	オンにすると、このユーザーに AES-128 暗号化が使用されます。 (注) SNMPv3 は DES をサポートしていません。[AES-128] ボックスをオフのままにすると、プライバシーの暗号化は行われず、設定されたプライバシーパスワードは無効になります。
[認証パスワード (Authentication Password)] フィールド	ユーザーのパスワード。
[確認 (Confirm)] フィールド	確認のためのパスワードの再入力。
[暗号化パスワード (Encryption Password)] フィールド	ユーザーのプライバシー パスワード。
[確認 (Confirm)] フィールド	確認のためのプライバシー パスワードの再入力。

ステップ 5 [OK] をクリックして、[SNMP ユーザー設定 (SNMP User Configuration)] ダイアログボックスを閉じます。

ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。